

2014年 社長年頭挨拶

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、年頭挨拶として、社長から全役職員に向け、メッセージを送りました。社長メッセージのあらまきは以下のとおりです。

「明治安田新発展プログラム」は完遂に向け順調に進捗

- ・ 2013年の日本経済は、株高等を背景に個人消費が底堅く推移したほか、公共投資の拡大や輸出の緩やかな回復等から企業景況感が改善し、加えて、設備投資も徐々に回復の兆しが現れ始めるなど、堅調に推移した1年であった。
- ・ 当社は、3ヵ年計画「明治安田新発展プログラム」の最終年度にあたり、「コンプライアンスの徹底を含めたCSR経営の推進」と「お客さま満足度向上の徹底追求」を基本に、さまざまな取組みを進め、概ね順調に進捗している。
- ・ 業績面では、予定利率の引き下げにより貯蓄性商品の販売が減少したものの、第三分野を含む保障性商品の伸展等により、上半期の保険料等収入は増収を確保することができた。
- ・ また、直近の「お客さま満足度調査」では過去最高の「お客さま満足度」に到達するとともに、解約・失効率は着実に改善するなど、お客さまに現状以上の「アフターフォロー」をお届けする土台が構築できていることを改めて実感した。

「感動を生み出す生命保険会社」に向け大胆に挑戦

- ・ 迎えた2014年、当社は新会社が発足して丸10年という大きな節目をみなさんと迎えることができ嬉しく思う。
- ・ 4月からは、「明治安田新発展プログラム」に続く新たな3ヵ年計画をスタートさせる。これまで進めてきた「お客さまを大切にできる会社」への取組みを継承・発展させていくとともに、「感動を生み出す生命保険会社」をめざし、財務基盤の健全性および収益力のいっそうの向上と販売・サービス面での改革等に全役職員が一丸となって取り組む。
- ・ 具体的には、当社がお客さまからの連絡を待つのではなく、こちらから積極的に伺って直接お目にかかる、つまり「能動的な対面サービス」という保険に対する新しい付加価値を提供していくことにより、「アフターフォローと言えど明治安田生命」といった企業ブランドを構築していく。
- ・ また、医療・介護等の第三分野を中心とする商品販売ポートフォリオの構築と、強固な販売サービス態勢の確立をめざしていく。
- ・ これからも、全役職員が一丸となってお客さまに「安心」をお届けし、「満足」の先にある「感動」を追求していくことで、「感動を生み出す生命保険会社」の実現に向け、一人ひとりが主役として自分自身の役割を捉え力強く挑戦していこう。